

平成27(2015)年度 運営に関する計画 最終評価シート

教務部

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【多様な体験学習の充実】 参加体験型学習を多く取り入れ、児童の学びを豊かにする。 <div style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</div>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【参加体験型学習の充実】英語活動・芸術鑑賞・社会見学などについて計画・実行・評価・改善とPDCA マネジメントサイクルで検証し充実を図る。 (特に子どもの実態に応じた事前の計画と事後の振り返りを充実させる。また、前期・後期だけでなく、参加体験学習の中の一つからもアンケートを取る。) (カリキュラム改革関連)		B
指標 校内の児童アンケートを実施し「参加体験型学習によって自分の学びや成長に役立った」の項目で、(あてはまる・どちらかといえばあてはまる)の回答を児童 85%以上、保護者 90%以上にする。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
◎前期 児童 84% 保護者 81% ⇒ 後期 児童 87%(+3%) 保護者 87%(+6%) ○学習発表会直後 児童 90% ○スポーツ交歓会直後 6年児童 91%		
児童については、指標を上回った。保護者も前期より 6%上がり指標にほぼ近づいた。事前・事後の学習の計画を立て、自分の生活と結びつけて考えるようにするなどの学習内容の工夫を各学年でしっかりと話し合い、実行していった(PDCA マネジメントサイクルが機能してきた)結果だと考える。 また、体験学習直後のアンケートでは 90%を超えており、児童が自分の学びや成長につながっている。		
次年度への改善点		
・次年度も年度初めに計画をしっかりと立て、事後の振り返りも充実していく。 ・活動のめあてやゴールを明確にし、パフォーマンス評価を導入する。 ・人権教育や外国語活動の取り組みが 3 学期に集中した。カリキュラムマネジメントを徹底する。 ・自尊感情を高める効果も踏まえて体験学習直後のアンケートを工夫する。 ・保護者の回答率を上昇させるために、ホームページや学年だより、懇談会や行事等での取り組みの様子をより一層発信していく。		